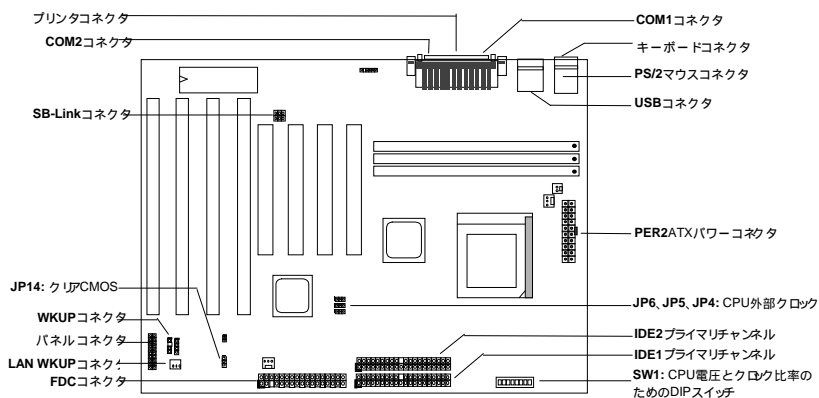


クイックインストールガイド

AOpen's AX5TCマザーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当ガイドは、マザーボードのシステムへのインストール方法を説明します。以下の図は、マザーボード上のジャンパー及びコネクタの位置を表します。:



AX5TCには以下のような特別機能がたくさん用意されています:

フル範囲CPUコア電圧 このマザーボードは1.3Vから3.5VのCPUコア電圧に対応しています。

ハードドライブへのサスペンド この機能は、作業中のファイルをハードディスクに保存し、すぐに作業を再開します。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ システムを完全にオフにした状態で、ファックス受信や電話等により完全にコンピュータを呼び起こすことができる機能です。

過電流保護 CPU Vコア 電流超過保護は、事故的に発生するショートを防止します。

CPU高温保護 CPUの温度が定められた温度よりも高くなると警告します。

CPUファン監視機能 システムはCPUファンの機能不全に対し、CPUのオーバーヒートを防ぐよう警告します。

システム電圧監視機能 この機能は、システムで使用されている電圧を常に関しします。

スイッチング・レギュレータ より高効率なCPU用のスイッチング・レギュレータです。

75/83.3Mhz外部クロック AX5TCは、75/83.3Mhz外部クロックをサポートしています。この機能を利用するときは、注意してください。

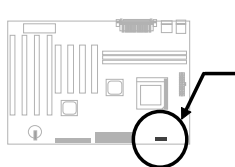
PCIサウンドカードコネクタ クリエーティブコンパチブルPCIサウンドカードをお持ちの場合は、カードをこのコネクタに接続して下さい。



注意: このクイックインストールガイドは参考のために提供されるものです。更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

CPUコア電圧の設定

SW1のスイッチ4~8はCPUコア電圧を選択します

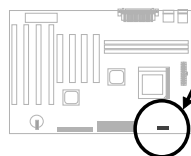


Vコア	S4	S5	S6	S7	S8	CPU
3.52V	ON	ON	ON	ON	OFF	6x86/K5
3.45V	OFF	ON	ON	ON	OFF	P54C/IDT C6
3.2V	OFF	OFF	ON	ON	OFF	K6-233
2.9V	ON	OFF	OFF	ON	OFF	K6-166/200またはM2
2.8V	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	P55C
2.2V	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	K6-266/300

クイックインストールガイド

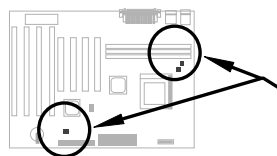
CPU周波数の設定

SW1のスイッチ1~3はCPUコア電圧を選択します。



S1	S2	S3	CPU周波数比率
OFF	OFF	OFF	1.5x (3.5x)
ON	OFF	OFF	2x
ON	ON	OFF	2.5x (1.75x)
OFF	ON	OFF	3x
ON	OFF	ON	4x
ON	ON	ON	4.5x
OFF	ON	ON	5x

CPUファンの接続



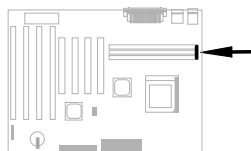
ファンケーブルを、ファンのタイプに合わせて2-ピンのFAN1、または3-ピンのFAN2に接続して下さい。FAN3はハウジングファン用にリザーブすることができます。ファン監視機能は3-ピンのファンで起動します。これは、3-ピンにはSENSEと呼ばれる特別なピンが付いており、ファンに信号を送る役目を果たすからです。



警告：PP/MT-233またはAMD K6-200/233には大き目のファンをご利用下さい。適切なCPUファンの選択は、AOpenのウェブサイト(<http://www.aopen.com.tw>)をご覧ください。

システムメモリのインストール

DIMMタイプはEDO(拡張データアウト)及びSDRAM(同時DRAM)をサポートしています。このボードは3つの168ピンDIMMソケット(デュアル・イン・ライン メモリモジュール)がありますので、合計256MBのシステムメモリをインストールすることができます。



Intel PIIx4チップセットとSeagate HDDのコンパチビリティ

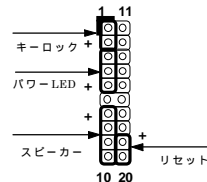
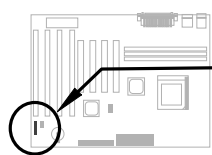
古いSeagate HDDで、Ultra DMAのないものの中には、3.3V PIIx4チップセット(Intel 440LX及び430TX)との対応に問題が生じるものがあります。新しいUltra DMAにはこの様な問題はなりません。



ヒント：ラベルとダンパー("3.3V & 5V Interface Compatible"というラベルの表面にある文字)の間のカバーに緑色のラベルがあったら、このHDDはPIIX4のテストがなされており、使用可能という意味です。

フロントパネルケーブルの接続

パワーLED、キーロック、スピーカーを取り付け、スイッチコネクタを各ピンにリセットして下さい。



クイックインストールガイド

BIOS設定の初期値を呼び出す

BIOS設定モードに入るには、POST(パワーオン自己診断)の途中で **DEL** を押して下さい。 "Load Setup Defaults"を選択することをお勧めします。システムの部品(CPU、DRAM、HDD等)がターボ設定に十分に対応できることが確かな場合を除き、"Load Turbo Defaults"は選択しないで下さい。更に詳しい情報については、ユーザズマニュアルのBIOSに関する項目をご覧ください。

WIND95で"?"マークをなくすには

Intelは、"ACPI"、"USB"及び"Ultra DMA/33"の最新版と共に430TXまたは440LXチップセットを紹介しています。これらのデバイスは非常に新しいため、1995年8月発売のWin95ではサポートしていません。この問題を解決するために、AOpenはAOchip.exeというユーティリティを開発しました。このユーティリティは、同封されているCDか、または私たちのウェブサイトから入手することができます。大変使いやすく、AOpenのマザーボードだけに使用が限られていないので、全てのTX/LXメインボードとの併用が可能です。このユーティリティを使用するには、aochip.exeディレクトリを実行して下さい。

Ultra DMA/33ドライバのインストール

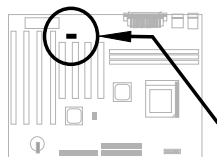
このドライバは、同封されたCDか、私たちのウェブサイトから入手することができます。また、このプログラムをインストールするためにsetup.exeを実行して下さい。インストールが終わったら、デバイスマネージャに以下が現れます。

-ハードディスクコントローラ
Intel 82371AB PCIバスマスターコントローラ
プライマリバスマスターIDEコントローラ
セコンドリバスマスターIDEコントローラ



警告:このドライバをインストールすると、ハードディスクへの一時停止に失敗することがあります。

PCIサウンドカードコネクタ



CreativeコンパチブルのPCIサウンドカードに接続するために、SB-LINKコネクタを使用しています。CreativeコンパチブルのPCIサウンドカードをお持ちの場合は、DOS環境における対応のために、カードをこのカードに接続して下さい。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ

ATXソフトパワー-On/Offと併用することで、システムを完全にシャットダウンし、データ通信の呼び出し時などに自動的にシステムをスタートさせることができます。この新しいモデムウェイクアップ機能は、外部接続のモデムだけでなく、内蔵モデムにも活用することができます。AX5TC及びMP56内部モデムカードは、特別な回路を使ってモデムカードが電源なしでも作動するように設計されています。モデムウェイクアップ機能について、更に詳しくは、ユーザズマニュアルをご覧ください。

CPU温度保護

CPUの温度が定められた値よりも高くなると、CPUの速度は自動的に遅くなり、PCスピーカーが音を発します。この機能に対応するために、AOpenソフトウェアチームは、ハードウェア監視ユーティリティを開発しました。このユーティリティは、CPUの温度と電圧の監視を行います。このプログラムは、同封されたCDか、または私たちのウェブページから入手することができます。

ハードディスクのサスペンド機能

オプション 1: /fileスイッチを使用(FAT16ファイルシステム応用):

以下のコマンドを使い、ハードディスクへ一時停止する時に、システム状況とメモリーイメージを保存しますので、ハードディスクの中のルートディレクトリに隠しファイルを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /file
```

クイックインストールガイド

隠しファイルを作成するために十分なHDDスペースがあることを確認して下さい。 システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBの場合、少なくとも36MB(32MB+4MB)の連続ハードディスクスペースが必要となります。AOZVHDDがHDDスペースの作成に失敗した場合、MS-DOSやWin95と共に提供されている"DEFRAG"ユーティリティ、または"Disk Defragmenter"を使い、HDDスペースを調整して下さい。

オプション2: /partition スイッチを使用(FAT16/FAT32ファイルシステム応用) :

ハードドライブへ一時停止のために、別のパーティションを作成するには、使用可能なパーティションが必要です。メモリ拡張のために十分なパーティションスペースを残しておいて下さい。例えば、システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBで、今後システムメモリを64MBまでアップグレードしたい場合、ディスクユーティリティ(fdisk等)を使い、68MB(64MB+4MB)のスペースを確保しておいて下さい。次に、以下のコマンドを使って一時停止パーティションを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /partition
```

余分なパーティションスペースがなく、データを消去したくない場合は、パーティション方法を使用しないでください。詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください。

システムBIOSの更新方法

BIOSをアップグレードするには、以下の手順で行って下さい。

1. AOpenのウェブサイトから新しいBIOSバイナリファイル入手して下さい。例えば、AX5TC120.BIN等です。
2. メモリハンドラー(EMM386等)やデバイスドライバをロードせずに、フロッピーディスクからシステムを起動させて下さい。
3. A:> AOFLASH AX5TC120.BINを実行して下さい。
4. 新しいBIOSコードを呼び出すと、ユーティリティは本来のBIOSコードをHDDかフロッピーに保存するように警告します。"Y"を押し、"BIOS.OLD"として保存して下さい。
5. 古いBIOSを保存したら、"Y"を押しBIOSを置き換えて下さい。
6. "FLASHING"の際には、コンピュータの電源を切らないで下さい。
7. "FLASHING"の後に電源を切り、コンピュータを再起動させて下さい。
8. POSTの際に"DEL"キーを押し、BIOSセットアップにアクセスしてください。
9. "BIOS SETUP DEFAULT"を呼び出し、その他の項目を同じように設定し直して下さい。
10. 変更を保存し、BIOSセットアップ終了して下さい。

詳しくは、ユーザーズマニュアルの"BIOSフラッシュユーティリティ"に関する項目をご覧ください。